

七間町再生プラン

「産・官・学・民」協働による

A-「職・住・遊・学」のまちづくり

市場：Festival Market Place

常磐公園の一角と青葉通りに市場機能をもった空間を確保したい。ガレリア式のガラスドームで雨露をしのげるものとする。近郊近在の農産物、海産物、畜産物を集めて地域の台所にしたい。この市場を中心に学生の NGO による地域のお年寄りのための宅配の会社を立ち上げたい。市場は誰もが一日中楽しめるお祭りの楽しい場所になりたい。

別雷神社

青葉通りとの連続性を高めるために別雷神社や周辺地権者の同意を得て、スーパーブロックとして開発したい。別雷神社は屋上と最上階に配置し、式場など多角的に利用が可能となる。天に近いユニークな神社として親しまれ、学問の神としても学生に親しまれると思う。

交通局／市役所分室

LRT の事業主体となる会社（市営の場合交通局）を再開発ビル内にオフィスを配置する。市民課の窓口も設ける。

交番

青葉交番は再開発ビル内に配置する。この地域は公共交通の西の拠点となるので安全と交通円滑化の為に交通警察官の協力は欠かせない。

「しずおかづくし」静岡伝統工芸展示場

静岡の伝統工芸（家具、指物、塗物、駿河竹千筋細工など）の展示場として活用しデザインなどに学生とのコラボレーションにより、新しい感性とセンスを取り入れて地場産業の再生をはかるとともに、後継者育成に取り組み、また市内観光コースに組み入れる。

プラモデル／ホビー館

世界的に有名な静岡のプラモデルの展示場として活用したい。この館では、特に船のプラモデルにしばしば展示したい。常磐公園の噴水池と青葉通りにかけて駿河湾、清水港から麻機遊水池までのジオラマを作りラジコンのヨット、カヌー、帆船商船、貨物船などが富士山を背景にすいすいと動き回れば、子供ばかりか大人までもが夢中になれる空間を演出することができる。

静岡銘菓／銘茶館

七間町の扇子屋さんの「ワッフル」など、もう一度味わいたい銘菓を復活してもらったり多くの人に本山茶の銘品を味わってもらいたい。常磐公園の一角に本物の里山を復元し、本物の茶工場を建て、本物のお茶ができる様子を実演したい。初夏の新茶と秋摘み新茶の時期には、お茶の香りがこの界隈に漂ったら素晴らしいと思う。



事業主体/公設民営

オートロックの高額所得者向けの住宅建設は民間にまかせ、この地域は子育て世代や低額所得者むけの公共性を重視した住宅政策を進めたい。家賃など運営全般を B・交通計画と同じように市議会決定したい。

お年寄りは外に出たがっている。高齢者の外出を支援することで眠っていたお金が動きだし若者への所得移転が促進される。元気なお年寄りが増えれば福祉の予算の軽減につながる。本計画は空洞化に悩む地方都市の中心市街地再生の処方箋として広く活用できるものと確信する。



カルチャアショップ

各種芸術活動や研究に資することのできる図書や画材音楽機材、パソコンや映像、通信機材などのそろったショップは今や市内に見当たらないのでぜひほしい。

フィルムコミッション

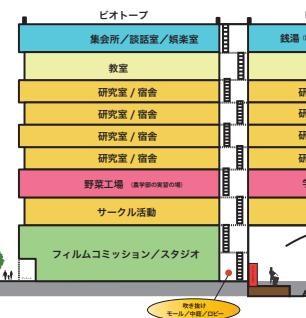
フィルムコミッション、映画製作、映像教育などに関わる活動拠点を作りたい。きれいな町並みや自然にあふれる郊外風景などの資産を生かして映像文化のメッカとして静岡の名を高めたい。

レンタサイクルシステム

当該地域一帯の回遊性を高めるためにレンタサイクルの拠点を設けたい。デポジットを公共施設、病院、デパート、商店街、駐車場など人の集まるところに設けたい。



ピカデリー2ブロック



ピカデリー1ブロック



最上階の銭湯（学生も協働）

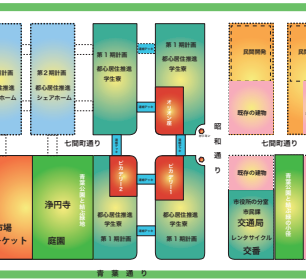
地域のお年寄りも自由に入浴できるものとする。学生はお年寄りの背中を流すことにより福祉の必須科目単位を取得できる。団塊の世代が一気に突入する超高齢化社会を迎え、若い力を借りずしてこの難局を乗り越えることは出来ない。

寄席：ライブハウス

大学のサークルの発表の場として落語研究会のための寄席。各種音楽サークルの活動拠点としてライブハウスは今日も一般にも開放されてにぎわっている。

地域通貨の発行

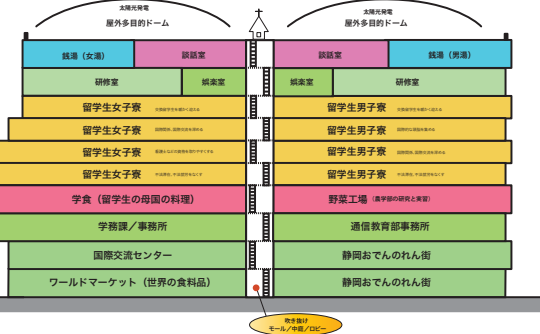
地域通貨を発行し、学生の社会貢献に対して報いたい。地域住民との交流を盛んにすることみなが「我が町」という意識を持つようにしたい。単位は 1 発 aoi。



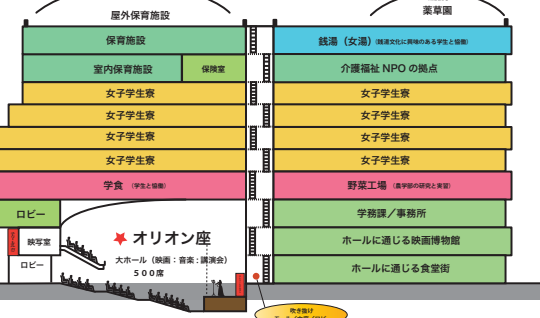
スーパーブロックの開発

地権者の同意がまとまれば公有地として譲り受けたり、定期借地権として借り入れスーパーブロックとして開発したい。十分な空地や緑化空間を確保して青葉通りとの一体感を出したい。学生に限らず若い子育て世代の入居を進めて地域の活性化を図りたい。駒形、番町、田町など南西部への都心居住促進のモデルケースとしたい。階層については対面にあわせて 10 階としたが、景観や都市のバランスを考慮して周辺は需要量に応じて 5 ～ 7 階にとどめたい。

オリオン座西ブロック



オリオン座ブロック



ホール ★ ストリートオルガン カリヨン

大学の講義から、国際シンポジウム、映画の上映などあらゆる目的に対応したレベルの高いものにする。1 階に設けて観客の出入りが容易にできるようにする。その結果大規模な昇降施設が不用となり芝居の道具などの搬入も楽にできる。ロビーは待ち合わせの場所などとして、常時市民に開放する。各ホールには大型のストリートオルガンを設置する。将来家具指物など地場産業とのコラボレーションで自作したい。

オリオン座

映画文化を守るために土日祭日に世界の名画や文化的に価値のある映画などを上映したい。5000人～10000人の友の会を募って運営の基盤としたい。

学食（学生と協働）

味も一流、ゴージャスな雰囲気学食は、一般にも開放する。ただし民業を圧迫してはならないことはいうまでもないので、地域の食堂の協力を得ながら共存共栄をはかる。農学部の研究と実習をかねて野菜工場を併設する。LEDを光源として無農薬の新鮮な野菜を提供する。夜はビアホールに変身して交流の拠点となる。

屋上：ビオトープ／菜草園

屋上はビオトープに。静岡の絶滅危惧種の保存の研究室を設ける。菜草園と研究施設を設ける。

保育所／託児所

保育所・託児所をもうけ、地域で働きやすい環境を整える。

学生寮

「駅を出て少し歩くとお堀の石垣が目に入ってくる。洒落なスペインドームの市役所の美しさに目を奪われながら進むと浅間神社の鳥居の先に絢爛豪華な社殿が飛び込んでくる。なんているいい街なんだろう。こういう良い環境で学びたい。」と大岩にあった静大の前身の静岡には全国から多くの向学の志が集まった。今、全国的に大学の都心回帰の機運が高まっている。まずは学生の都心居住からまちとのつながりを高めたい。

教室／通信教育・公開授業

教室は本校と双方向で結ばれ、どちらでも同じ授業が受けられるようにする。一般社会人の入学を積極的に受け入れる。大学と地域との距離が縮まり親近感が生まれる。学祭や演奏会などが市民に身近なものとなる。体調などが減り学業に専念できる環境が整う。交通至便な環境は市、県外部との学問の交流が活発となる。

本校への交通手段

バスやLRTなど、公共交通を利用して居眠りしたり、談笑したり、本を読みながら通学できるような、直通交通システムを構築する。運賃は学生割引に加えて周辺の企業や商店街が何らかの形で協賛できるように方法を考える。例えば、学生の奉仕活動に対して地域通貨（単位：1 発）で謝礼とすることなどが考えられる。

学生のアルバイト

地域の商業、サービス業、事務所などのアルバイトのほか、この再開発地域の各種事業を学生との協働で行いたい。高齢者人口の急増で、福祉や介護などの仕事もこれからはますます需要が増してくる。若い人の力を借りなければ、これからの世の中はもたない所に追い込まれている。実践的アルバイトを通じて、静岡の社会人、経済人との交流が盛んになり、卒業後静岡にとどまる学生が増えたい。

コミュニティへの参加

地域のお祭りなどに積極的に参加してもらい伝統文化を守りたい。防災訓練などにも参加してもらい、まさかのとときの大きな力になってほしい。

大学へのメリット

楽しい実のある大学生活が送られれば学術都市としての大学の知名度、好感度は飛躍的に高まり、全国から才が集まることになる。卒業後もこの地にどまっと研究したいということになれば新たな知的産業の創出も期待される。通信大学、社会人大学などの導入によりよい社会とのつながりを高めたい。楽しく学ばなければ学問ではない。静岡で学んでよかったといわれるようなまちにしたい。

将来への発展性

今川の時代から駿府の中心であった当該地域を含む北西部は、高齢化と人口減少がいちじるしい。このプランが成功すると、この地域の先の駒形、新通り、さらに番町方面への子育て世代の若者居住の呼び水となり、都心部再生の大きな潮流となることが期待される。都市縮小の時代、持続可能なコンパクトシティがパラダイムの今こそ、旧市街地が直直されて再生することが望まれる。映画館の撤退に端を発した今回の都市再生の問題は、実は静岡市の将来の命に関わる問題でもある。今こそ私たち静岡っ子の英知が試されている。